

実施報告

浦河町立浦河小学校

*学級数 10 *児童数 158

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道浦河高等学校	教諭	小川 三千雄	生物

【本事業のねらい】

小学校第5学年「電流の働き」、第6学年「電気の利用」の単元において、「エネルギーが蓄えられることや変換できること」など、電気の性質や働きについて、児童に実験やものづくりなどの具体的な体験を通して理解させる教員の指導力向上を目的に実施した。

【実施内容】

1月23日14:20～15:50、浦河小学校理科室において、18名の教員を対象に、小学校第5学年「電流の働き」、第6学年「電気の利用」の単元目標と学習内容、指導上の留意事項を確認した後、「手回し発電機を使った発電」の実験や「紙イヤホン」づくりを行った。



<実験の様子>

【本事業での主な参加者の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・手回し発電機の実験では、ハンドルを回す速さと電流の大きさの関係が電球の明るさの違いでよくわかりました。授業では、手回し発電機を壊さないよう注意させながら電球を明るく光らせたいと思います。
- ・コンデンサーを使った充電の実験では、手回し発電機で充電したコンデンサーを豆電球につなぐと光るので充電されたことが実感として捉えられました。授業で子どもたちに実験させたいと思います。
- ・「紙イヤホン」は、材料も揃えやすく、1単位時間で簡単に作成することができるので、とても便利な教材であることがわかりました。
- ・「紙イヤホン」で音を出す実験では、電気エネルギーを音（振動）に変換できることが実感として捉えられました。授業で子どもたちに作らせたいと思います。

【来年度以降の実施に向けて】

事前に支援員が当該学級の理科の授業を参観したことにより、児童の実態を踏まえた研修内容とすることができた。